資料４

第14回微量ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る地域環境委員会議事要旨

１．日　時

平成29年7月27日（木）15:30～16:30

２．場　所

ホテルイースト２１東京　牡丹の間

３．出席者

【委　員】　浦野委員長、竹内副委員長、風祭委員、河野委員、小安委員、佐竹委員、保科委員、前川委員、山本委員（欠席：木下委員）

（五十音順）

【事務局】　東京電力フュエル＆パワー(株)　羽澄

東京臨海リサイクルパワー(株)　影山、石黒、松原

【傍聴者】　なし

４．議　事

微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況、環境モニタリング結果、安全対策の実施状況について報告・説明した。微量ＰＣＢ汚染絶縁油処理については、問題無く処理が進められている事をご確認頂いた。安全対策の実施状況については、災害の再発防止策を確実に実施して欲しい旨、委員の皆様よりご意見を頂いた。

主な質疑、意見は以下の通り。（「○」：委員、「□」：事務局）

（１）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況について

○Ｋ２タンクの濃度測定値が、平成28年7月から8月に上がっている。この時は受け入れたものが結構高濃度のものが入ってきたのか。受け入れ油の濃度の確認はどのようにやっているのか。

□受け入れ濃度は、東京電力で分析した値を事前に提出してもらい100ppm以内であることを確認している。

○処理実績はほとんどが東京電力分だが、一般事業者分はこんなに少ないのか。

□ＰＣＢ焼却を始める時には地域・東京都のＰＣＢを処理するということで許可をいただいたと思っている。要因の一つは、千葉方面で処理単価の安い施設があること。これは我々も頑張らなくてはいけない。また今はタンクローリーでしか受け入れができない。地域の方のＰＣＢは量が少ないことがわかったため、ドラム缶でも受け入れができるようにすることを検討している。さらにトランス等の筐体を関係会社のＴＰＴやＪＦＥと連携して処理する体制を検討している。状況を

改善し何とか地域の皆様のお役に立てるようにしていきたい。

○汚染ＰＣＢ油や筐体の処理も、最近は認定を受けた業者が増えてきて競争が激しい。しかし少量のものは遠くに運ぶと輸送費が割高となり、近場で処理したいというニーズはあると思うのでＴＲＰにも頑張ってもらいたい。

（２）環境モニタリング状況について

○基準値以内ではあるが、ばいじんのダイオキシン測定結果の平成 28 年７月の値だけ高くなっている要因がわかっているか。

□この測定値の速報が出た時点で、試料採取時の施設の運転状況と廃棄物の受け入れ状況を確認したが、特に通常と違う状況はなかった。またダイオキシンの再測定を行ったが通常値に戻っていた。今後も継続的に監視を行っていきたい。

（３）安全対策（災害発生）について

○防護ネットを設置するというルールがあったのにそれが実施されていなかった点について、たまたま今回は大きなけがに至らなかったがもっと大事になっていた可能性はあった。ネットがあると作業がしにくいということか。

□炉内の通常の作業はネットを張った状態で行われており、作業は完了していた。最後にネットを片付ける段階で今回の事故が発生した。ロープが引っ掛かる事象が発生した時点で対応を検討し、安全を確認して作業したつもりだったが不十分だった。今後はネットを取り外す際にも人が中に入らなくて済む方策を検討することを対策とした。例えばロープが引っ掛かった際には引き揚げず、下に落とすなど、柔軟に考えて対策をとっていく。

○そのような安全対策で同様の事故が起きないようにしてもらいたい。

○事故は大体想定外で起こるので、起こり得ないことも想定しておくことが大事。また中に人が入らなくても済むような対策についても資料に残したほうが良い。

○実施している教育の中にヒヤリハットがあるが、これはどのような内容か。

□事故にはならなかったがもう少しで事故になる可能性があったという事象について、情報共有し注意を喚起して事故の発生を未然に防止しようとするもの。

○そのような事例を収集する仕組みはあるのか。

□社内に安全衛生委員会があり、そこでヒヤリハットの事例とその対策について報告することとなっている。対策の内容についても委員会で吟味している。

○小さな事例でも収集できるシステム、その記録、対策、さらにそれを周知する取り組みが一番大事なので、今後もしっかりと取り組んでもらいたい。

○安全衛生委員会の頻度は。

□毎月実施している。その中で作業員の健康状態、安全面の問題の有無、安全週間での実施内容等を確認、検討している。

○今回の事故については、作業のチェック体制が十分だったかも含めて点検する必要があると思われる。このようなことが二度とないように気を引き締めてやって

いただきたい。

○この作業の際には複数の人間がいたのか。

□ロープが抜けなかった時点で一度作業を止め、複数の人間で対応を検討し作業方法を決めたが、その時に人が入らないで済む作業方法とするところまで至らなかった。その不十分だったところの改善を対策として記載した。しかしご指摘いただいたところは重要と思われるので今後反映していきたい。

○ＰＣＢとは直接関係ないが、4 件あった設備停止の補足説明をお願いしたい。

□3 件は排熱ボイラのチューブリーク、1 件は砂分級装置の不調による不燃物の排出不良によるもの。

（４）その他

○表彰を受けたのは良いことだった。

○今回で 14 回目の委員会で、これが始まって 7～8 年経った。このくらいの時期は結構気が緩む時期という気もするので、是非また気を引き締めてやってもらいたい。

□我々も気を引き締めて、環境面、安全面にしっかりと対応していくが、我々だけでは気が付かないところもあると思うので、この委員会で厳しいご意見をいただいてそれを持ち帰り、さらに緊張感を高めてやっていきたい。これからもご指導をよろしくお願いしたい。

○こういう委員会が定期的に継続していくことがお互いの緊張感にもなり、会社のためにもなるので、意見があれば言っていくということを継続していただきたい。

□本日の資料についてはＴＲＰのホームページに公開するのでご承知おきください。

□次回の委員会開催については、2 月上旬頃を予定している。

以　上